

養老町

野球のグラブできた

ミズノテクニクス バット作りも見学
親子教室



野球のグラブ作りに挑戦する親子ら＝養老町高田、ミズノテクニクス

夏休みの子どもたちが野球のグラブ作りに挑戦する教室が3日、養老町高田のミズノテクニクスであり、西濃地域を中心に小学生の親子33組約70人が参加した。

(根尾文悟)

大垣西濃信用金庫が「合いを目的に開き、今地域貢献と親子の触れ」年で3回目。

子どもたちは親に手伝ってもらいながら、専用の道具を使ってグラブに革ひもを通していった。製作の合間には、米大リーグで活躍するイチロー選手のバットを手掛ける名和民

夫さんの作業の様子を見学。先日、プロ野球で通算2千安打を達成したドラゴンズの荒木雅博選手と同じモデルのバットを完成させ、じゃんけんで勝った参加者にプレゼントされたい」と話した。

笠郷小1年の伊藤唯徒君(6)は「バットやグラブがどうやって作られているか分かった。道具を大切にしよう。少年団で野球を頑張りたい」と話した。